



会長の時間 西川 發子会長

1月は職業奉仕月間です。ロータリーの友1月号のRI会長のメッセージに、新会員がロータリーに入会する理由について「ロータリーはキャリアに大きなプラス」になるからだ。ロータリーに入れば人脈を築くことができるし、顧客に職業上大切な信頼を示すことができる。なぜロータリーが信頼を得ているかといえば、職業や事業に対して最も高い倫理基準があるからだと言っています。規定審議会の改定でも解るように、ロータリーは変革しています。職業奉仕については、自分の職業スキルを生かした奉仕活動をしようというのがRI的解釈かと思います。日本の職業奉仕観はガラパゴス化しているという事を聞いたこともあって解釈に戸惑っていましたが、ロータリーの友1月号に掲載されている、甲府北ロータリークラブの小林聰一郎さんの寄稿を読んで納得する所がありました。職業奉仕という日本語訳は、職業と奉仕を+して「職業奉仕」として1つの単語としたから難しくなったとしながら解釈を与えてくれています。日本におけるロータリーの独創性が生み出し、高度な思想性・倫理性を持った職業奉仕観を100年かけて作り上げた。奉仕の理想(理念)と近い思想ではないかと思う。RI的な考えはそうであってよく、日本では別の職業奉仕概念を育んできたので、この考えこそ、ロータリーの本流の考え方であるとすれば良いというのです。ロータリー的絶対はないので、主客はあるにせよドッチモという考え方を心に留めて、日本の職業奉仕を自らがよって立つ理念とすればよいと思う、と言っています。心に残る1つの解釈でした。以前、中川さんも100人100様のロータリーがあって良いと言っていましたので、皆さんもご自分の職業奉仕を考えてみてください。

卓話



千田 利明会員

千田様はロータリーにご入会されて5ヵ月になります。小松市のご出身で現在57歳です。中学・高校と野球でキャッチャーをされ、県大会では優勝されたそうです。毎日監督に殴られて、理不尽でしたが、メンタルが鍛えられました。また、バッテリーを組んでいたピッチャーの方が星稜高校に進学しキャッチャーに転向しましたが、あの有名な箕島高校との試合のキャッチャーだったそうです。その後東京の亜細亜大学に進学をして自転車部に入部、都会的な部かとおもいましたが、自転車に乗って東京から千葉、茨木、箱根や全国を巡り、宿泊は野宿でしたが地元の方に声をかけていただき人情を感じました。その後北陸信用金庫に入庫され、小松で2回、野々市市1回の計3回の新築を経験した事はラッキーでした。金庫生活は35年となり、本部に異動と思いましたが、松任支店になりました。また、ロータリーの2クラブに所属出来たこともラッキーです。融資の判断としての5原則「公共性・安全性・流通性・成長性」がありますが、ロータリーの四つのテストも判断材料にしています。いよいよ本年9月に鶴来信用金庫さんと合併し「はくさん信用金庫」になります。経営理念は「地域経済の発展 社会の繁栄 健全な経営 明るく豊かな未来への実現」です。地域の発展の為に頑張っていられるとの事です。とても詳しく気さくにお話をしていただき、また地域の発展への思いも語っていただきました。



発信者

内容

金沢みなとロータリークラブ

5 R C 合同例会収支が届きました

野々市ロータリークラブ

「野々市市少年弁論大会」ご参加の御礼

国際ロータリー

2020-21年度国際ロータリーのテーマが「ロータリーは機会の扉を開く」に決まりました

ニコニコボックス

- 西川 發子 気のゆるみで体調をこわしました。皆様もお気をつけ下さい。今日までギャラリーに杉本さんの花が展示してあります。例会後ご覧いただければ幸いです。
- 藤田 法暁 田中和子さん今日は中間会計報告御苦勞様です。千田利明会員本日卓話ありがとうございました。
- 田中 和子 本日は中間会計報告です。どうぞ宜しくお願い致します。
- 春田 喜裕 ありがとうございました。

ニコニコボックス金額

today ¥8,000

total ¥370,600

ニコニコ小銭 ¥7,935

total ¥51,714

他クラブメイクアップ

出席率

76.47%



事務局 〒924-0871 石川県白山市西新町159-2 松任産業会館4階

TEL 076-274-5833 FAX 076-274-5332

例会場 グランドホテル白山 TEL 076-274-0001 例会日 火曜日

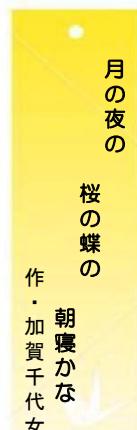
(第1火曜日 行善寺 TEL076-275-0656)

会報活動担当 水上 克也

ニコニコボックス担当 杉本 和美 針原 利浩 奥村 俊哉

http://www.hakusan-rc.jp

e-mail info@hakusan-rc.jp



金城大短期大学部 美術学科学生 作品